Vestax

Professional Mixing Controller

PCV-175

取扱説明書

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
電話 03-3412-7011　　ファックス 03-3412-7013
Web : www.vestax.jp
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PCV-175 プロフェッショナルミキシングコントローラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書を良くお読み下さるよう、お願いいたします。

目次

安全上のご注意 ………… 1
本機の特徴 ………… 3
ご使用上の注意 ………… 3
各部の名称と機能 ………… 4
　プログラムセクション ………… 5
　マイクセクション ………… 6
　フェーダーユニットの交換 ………… 7
　マイク・マスターセクション ………… 8
接続例 ………… 9
故障かな？と思ったら ………… 10
保証、アフターサービスについて ………… 10
主な仕様 ………… 11

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告　この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警告

電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因たなることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となるこたがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 各プログラムチャンネル(PGM1, PGM2)にPHONO1系統、LINE2系統の入力を装備。それぞれのプログラムには、3バンドEQ、バランスコントロール、トリムコントロールを装備し、細かいセッティングが可能です。
- インプットフェーダーヴォリュームには60mmのストロークをもつフェーダーヴォリュームを使用しており、テクノ、トランス、ハウスといったロングミックスを要求されるジャンルに最適です。
- MICチャンネルにはMIC1、MIC2の2系統の入力を装備。HI, LOWの2BANDイコライザーにより、LOW PASS、HI PASS等の音質補正が行えます。
- 各チャンネルにエフェクトスイッチを装備しており、各PGMからエフェクターに信号を送ることが可能です。
- 2IN-2OUTステレオのセンド／レシーブ端子にエフェクターを接続することによりディレイ、リバーブ等の各種エフェクトを使用することができます。
- 長年の経験をデータにより作られたクロスフェーダー、CF-PCVは、過酷なスクラッチにも耐える耐久度となめらかな操作性をもちあわせています。ベスタクス・デタッチャブル・フェーダーシステムによりメンテナンスも容易です。
- 操作面にパネルの継ぎ目のないダブルパネルシステム。インプットフェーダー、クロスフェーダーはパネルの下にマウントされています。トップパネルをはずせば、簡単に交換することができます。
- PGM1、PGM2、SUB CH にカットスイッチを装備しています。HI、MID、LOW3 帯域を自由にカットしながら2つの音楽ソースをミックスすることが可能です。

ご使用上の注意

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスをもつ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れをふき取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないで下さい。

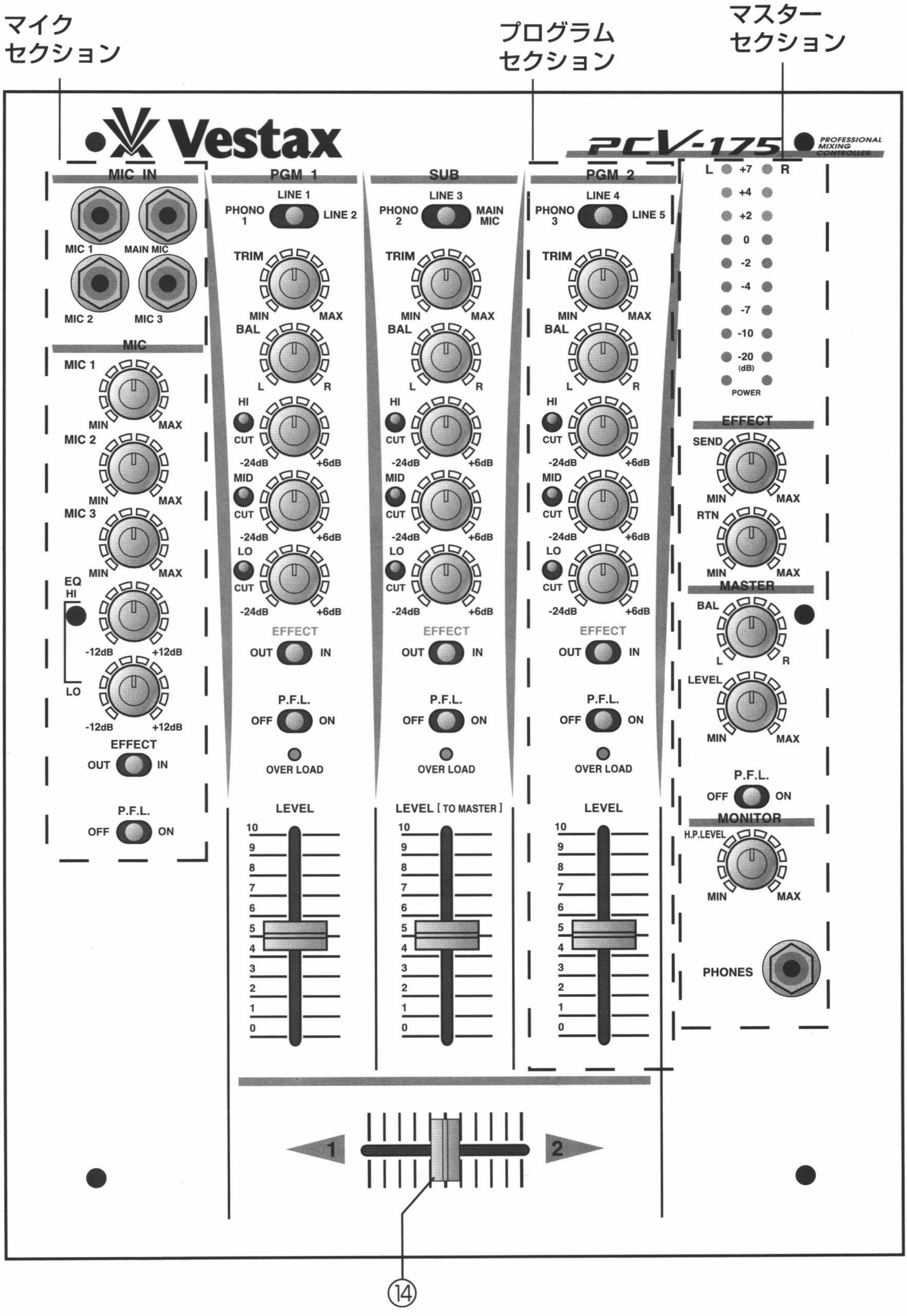
修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの店または、当社商品の取り扱い店にご相談ください。

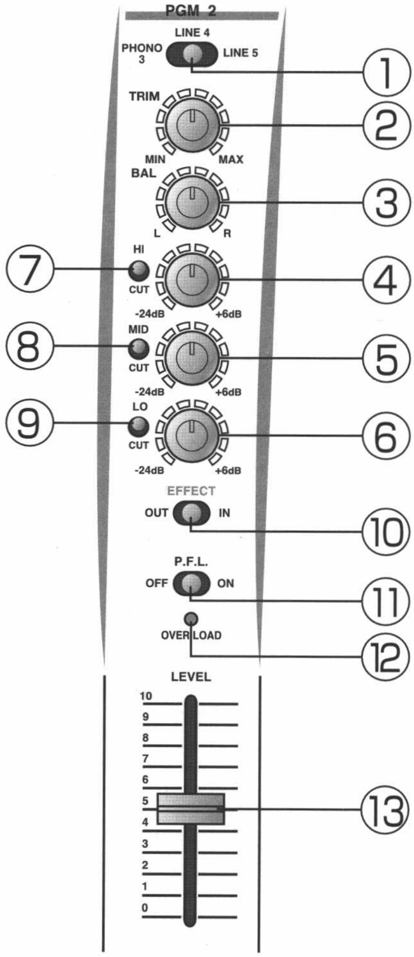
その他の注意について

- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためプラグを持って行ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意してください。
- 輸送や引越しの際は、この機器がはいっていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

各部の名称と機能


マイク
セクション
プログラム
セクション
マスター
セクション
Vestax
PCV-175
PROFESSIONAL MIXING CONTROLLER
MIC IN
MIC 1
MAIN MIC
MIC 2
MIC 3
MIC
MIC 1
MIN MAX
MIC 2
MIN MAX
MIC 3
MIN MAX
EQ
HI
-12dB +12dB
LO
-12dB +12dB
EFFECT
OUT IN
P.F.L.
OFF ON
PGM 1
LINE 1
PHONO 1
LINE 2
TRIM
MIN MAX
BAL
L R
HI
CUT
-24dB +6dB
MID
CUT
-24dB +6dB
LO
CUT
-24dB +6dB
EFFECT
OUT IN
P.F.L.
OFF ON
OVER LOAD
LEVEL
10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
SUB
LINE 3
PHONO 2
MAIN MIC
LEVEL [TO MASTER]
PGM 2
LINE 4
PHONO 3
LINE 5
L +7 R
+4
+2
0
-2
-4
-7
-10
-20 (dB)
POWER
EFFECT
SEND
MIN MAX
RTN
MIN MAX
MASTER
BAL
L R
LEVEL
MIN MAX
P.F.L.
OFF ON
MONITOR
H.P.LEVEL
MIN MAX
PHONES
1
2
⑭

プログラムセクション



① インプットセレクター
各プログラムの入力をPHONO1系統、LINE2系統から選択します。

② トリムコントロール
各プログラムの入力レベルを調節します。インプットフェーダーを目盛7～8の位置にセットして、レベルメーターが0dB位まで点灯するように調整して下さい。

③ バランスコントロール
各プログラムのL／Rバランスを調節します。ターンテーブルのアンチスケーティングを強めに設定したときに生じる、L／Rバランスの不良を補正することもできます。

④ EQ HI（10kHz）
高音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。シンバル、ハイハット系の音を強調して、リズムにアクセントをつけたりするときに使用します。

⑤ EQ MID（1kHz）
中音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。ボーカルソースやメロディーソースをカットして、リズムソースを強調するときに使用します。

⑥ EQ LOW（80Hz）
低音域帯のみの音量をブースト／カットするボリュームです。左に回すと音量が小さくなり、右に回すと音量が大きくなります。12時の位置がフラットの状態です。バスドラム等のリズムソースのベース音源をカットして、アカペラ効果を出すときに使用します。

⑦ HI CUT（高音域カットスイッチ）
④の高音域帯ヴォリュームの周波数帯をカットするスイッチです。このスイッチを下に倒すことにより、HIを最小にした状態になります。

⑧ MID CUT（中音域カットスイッチ）
⑤の中音域帯ヴォリュームの周波数帯をカットするスイッチです。このスイッチを下に倒すことにより、MIDを最小にした状態になります。

⑨ LOW CUT（低音域カットスイッチ）
⑥の低音域帯ヴォリュームの周波数帯をカットするスイッチです。このスイッチを下に倒すことにより、LOWを最小にした状態になります。

⑩ EFFECTスイッチ
各プログラムの信号をEFFECT SEND JACKから出力するかどうか選択するスイッチです。出力される音声はプリフェーダー（フェーダーの前）からの信号です。OFFではEFFECT SEND JACKより信号は出力されません。

⑪ PFL（PRE FADER LISTENING）スイッチ
各プログラムにおけるプリフェーダーからの信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうかを選択するスイッチです。ヘッドフォンでプログラムの入力をモニターする際に、このスイッチをONにして下さい。2つ以上のPFLスイッチをONにした場合は同時に複数の音声が出力されます。モニター音声はステレオ方式です。

⑫ OVERLOAD ランプ
過大入力時に点燈します。このランプが点燈した場合、ミキサーから出力される音声信号が歪み、スピーカー等に悪影響をおよぼす場合がありますのでご注意ください。

⑬ インプットフェーダー
各プログラムの入力レベルを設定します。永年の使用による劣化でノイズが目立つ場合には、新しいインプットフェーダーユニット、"IF-175"に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。

- ●トップパネルをはずします。
- ●フェーダーユニットをパネルごと取り外します。
- ●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
- ●新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジでパネルに固定します。
（次ページ参照）

⑭ クロスフェーダー
左側に移動するに従いPGM1で選択した音が、右側に移動するに従いPGM2で選択された音が、それぞれ出力されます。また中央部では、両方の音が同時に出力されます。クロスフェーダーを動かしたときにノイズが目立つようになった場合は、交換用クロスフェーダーユニット、"CF-PCV"に交換して下さい。なお、交換は次の要領で行って下さい。

- ●トップパネルをはずします。
- ●フェーダーユニットをパネルごと取り外します。
- ●フェーダーユニットからマルチケーブルコネクターを抜きます。
- ●新しいフェーダーユニットに、コネクターを差し込み取り付けネジでパネルに固定します。
（次ページ参照）

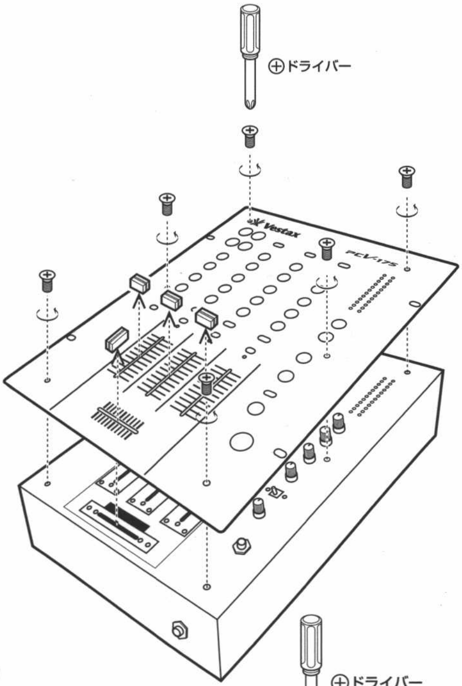
注　意

ドライバーをご使用する際に、ドライバーのサイズが合わないとネジを破損させてしまう恐れがありますので、サイズの合ったものをご使用下さい。

トップパネルの外し方

① 右図のようにインプットフェーダー(⑬)､クロスフェーダー(⑭)、のツマミを取り外して下さい｡(計4個)

② トップパネルを固定している6点のネジを、図のようにプラスドライバーを使用し、外して下さい。

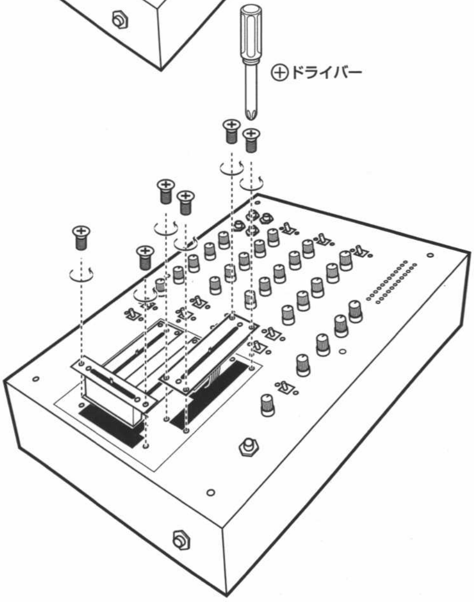


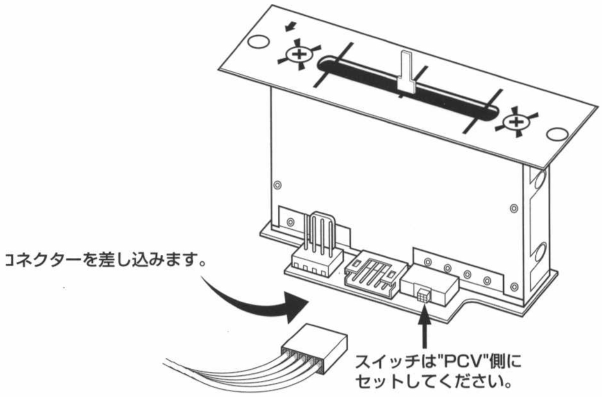
フェーダーの交換

① 右図のように、フェーダーパネルを固定しているネジを外し、フェーダーユニットごと上へ持ち上げてください。

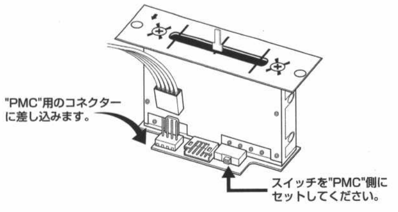
② 右図のように、フェーダーユニットと本体側を接続しているコネクターを引張って取り外して下さい。(この際、コネクターのピンを曲げないように注意して下さい)

③ 新しいフェーダーユニットと交換し、②→①の手順で元に戻して下さい。

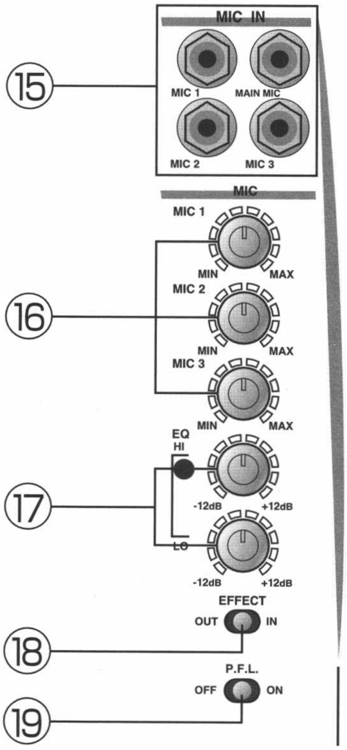




CF-PCVをPMC-05ProⅡ等の
PMCシリーズに使用するとき



マイクセクション



⑮MICインプットジャック（MAIN, MIC 1・2・3）
MIC の入力端子です。

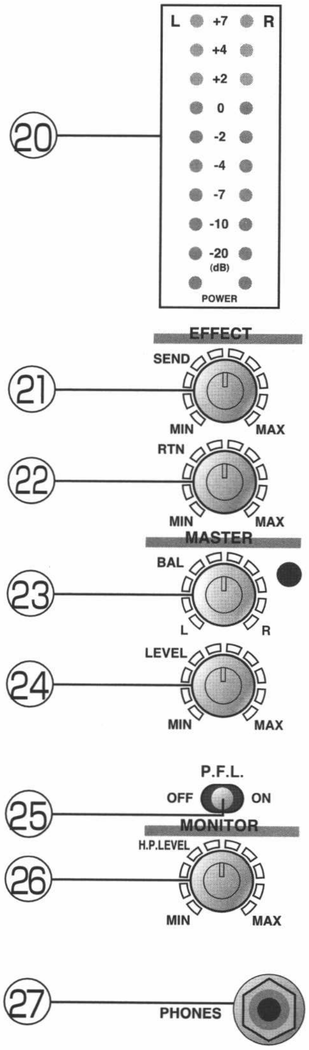
⑯MICレベル
各マイクのレベルを独立して調節します。

⑰MIC EQ（HI、LOW）
マイクの音質をHI／LOWの2バンドで調節します。息継ぎ音等が目立つような場合の調整にご使用ください。

⑱MIC EFFECTスイッチ
MICチャンネルの信号をEFFECTSEND JACKから出力するかどうかを設定します。スイッチをIN側にするとマイク の信号が、EFFECT SEND JACKへ出力されます。

⑲PFLスイッチ（マイクチャンネル部）
MIC cHに入力された信号をヘッドフォンモニター部に出力するかどうか設定するスイッチです。ヘッドホンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。

マスターセクション



⑳マスターアウトレベルメーター
LEDバーグラフにより、L,Rchから出力される信号レベルを表示します。

㉑EFFECTセンドレベル
EFFECTセンドから出力される信号レベルを調節します。出力される信号は、EFFECTスイッチ⑩で選択します。

㉒EFFECTリターンレベル
EFFECTリターンから入力される信号レベルを調節します。

㉓マスターバランスヴォリューム
LINE OUT出力のLch, RcHのバランスを調節します。

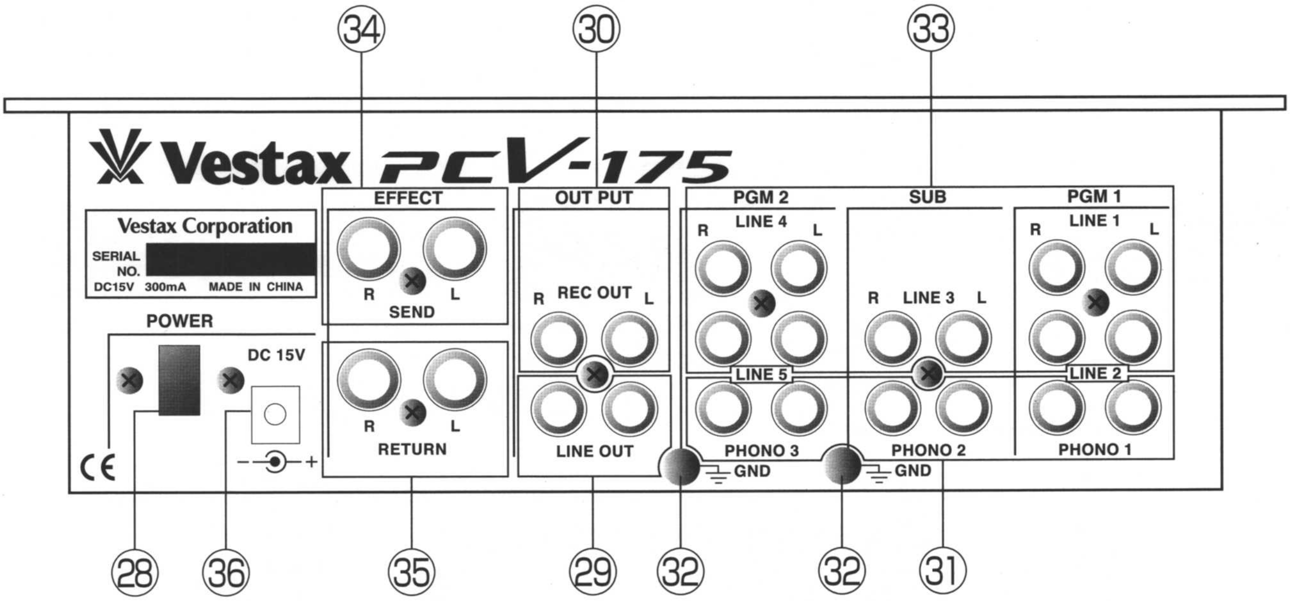
㉔マスターレベルヴォリューム
リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号のレベルを調節します。

㉕PFLスイッチ（マスターアウト部）
マスター音声（リアパネルのLINE OUT端子から出力される信号）をモニター部にアサインするスイッチです。ヘッドホンでモニターする際には、このスイッチをONにしてください。

㉖H.Pレベル（ヘッドフォンレベル）
ヘッドフォンジャックに接続されたヘッドフォンの音量を調節します。

㉗ヘッドフォンジャック
ステレオタイプのヘッドフォンを接続します。8Ω以上のインピーダンスのものをご使用ください。

リアパネルセクション



㉘パワースイッチ
電源のオン／オフスイッチです。オンのときにマスターアウトレベルメーターの最下位のLEDが点灯します。

注　意

このスイッチを操作する際は、接続しているパワーアンプなどのボリュームを下げるか、電源を切った状態で行って下さい。電源がONになる際にノイズが入ることがありますのでパワーアンプ、スピーカーに悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合破損する恐れがあります。御注意下さい。

㉙LINE OUT［RCA PIN JACK UNBALANCE］
マスターのアンバランス出力端子です。パワーアンプ、プリメインアンプの入力端子に接続してください。

注　意

お持ちのアンプに接続する際は、TAPE, AUX, MD, DATといった入力端子に接続して下さい。“PHONO”端子はレコードプレーヤー専用で、専用の回路が内蔵されていますので、音が割れたり、歪んだりします。それだけでなく、アンプ・スピーカーの破損の原因となりますのでご注意下さい。

㉚REC OUT［RCA PIN JACK］
録音用の出力端子です。テープデッキ・DAT・MD等に接続して下さい。

㉛PHONO INPUT
PGM1, PGM2, SUB Chのターンテーブル用入力端子です。MMカートリッジのセットされたターンテーブルを接続してください。なおMCタイプのカートリッジをご使用の場合はヘッドアンプが必要です。

㉜グランドターミナル
ターンテーブルのアースケーブルを接続して下さい。ノイズやハムを減少させます。

㉝LINE INPUT
PGM1, PGM2, SUB cHのラインレベル機器の入力端子です。CDプレイヤー、テープデッキ、DAT, MD等を接続してください。

㉞EFFECT SEND
外部エフェクターの入力端子に接続してください。モノラル接続の際はＬ側端子をお使い下さい。

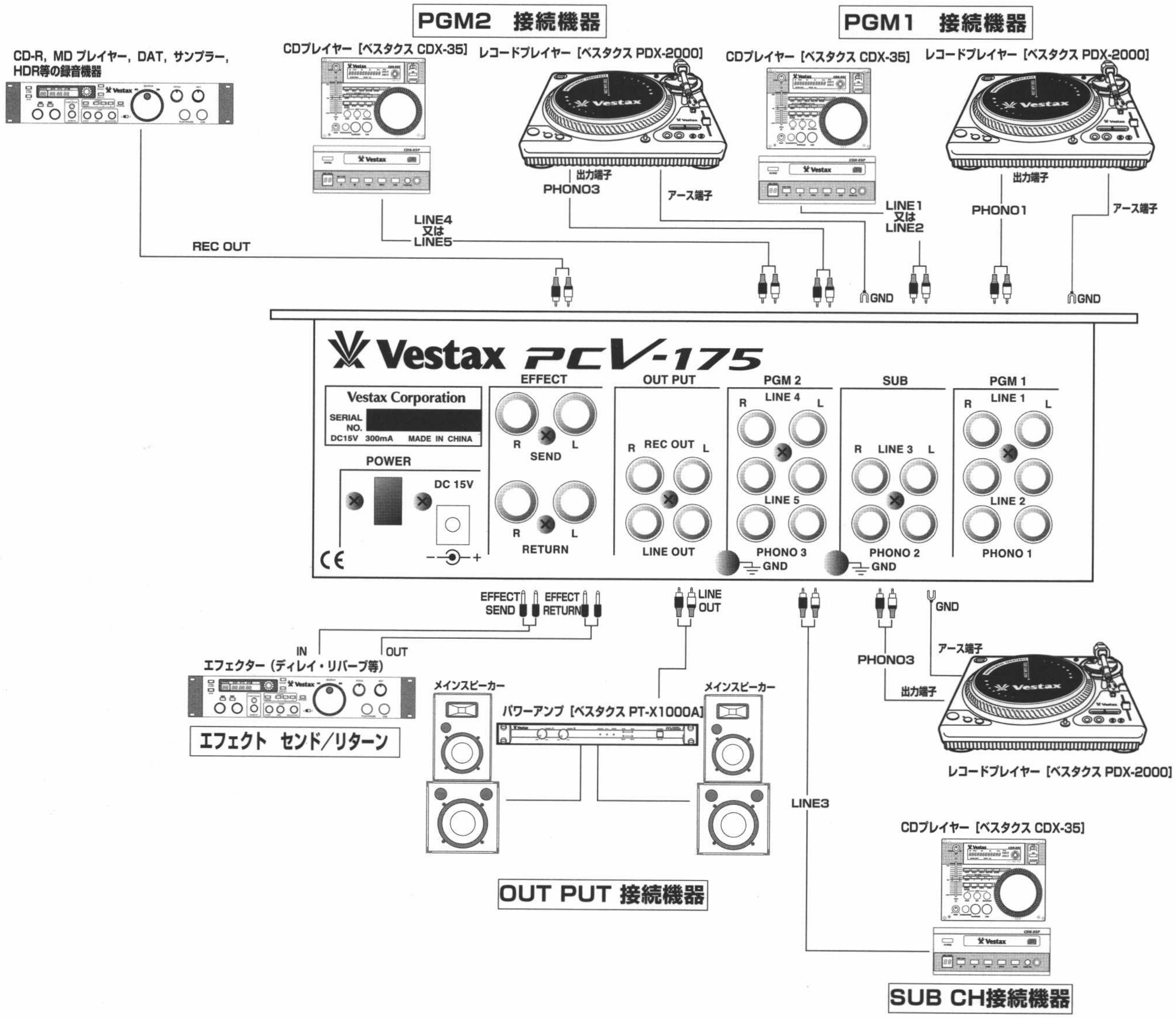
㉟EFFECT RETURN
外部エフェクターの出力を接続して下さい。モノラル接続の際はＬ側端子をお使い下さい。サブの入力端子としても使用することができます。

㊱POWER JACK
専用のDCアダプター（DC-15A）を接続して下さい。

注　意

DC-15A以外のアダプターを使用した場合、本体が破損する恐れがありますのでご注意下さい。

接 続 例


PGM2 接続機器
PGM1 接続機器
CD-R, MD プレイヤー, DAT, サンプラー, HDR等の録音機器
CDプレイヤー [ベスタクス CDX-35]
レコードプレイヤー [ベスタクス PDX-2000]
出力端子
PHONO3
アース端子
LINE4 又は LINE5
REC OUT
LINE1 又は LINE2
PHONO1
GND
Vestax PCV-175
Vestax Corporation
SERIAL NO.
DC15V 300mA MADE IN CHINA
POWER
DC 15V
EFFECT
R SEND L
R RETURN L
OUT PUT
R REC OUT L
LINE OUT
PGM 2
LINE 4
LINE 5
PHONO 3
SUB
LINE 3
PHONO 2
PGM 1
LINE 1
LINE 2
PHONO 1
EFFECT SEND
EFFECT RETURN
LINE OUT
IN
OUT
エフェクター（ディレイ・リバーブ等）
エフェクト センド/リターン
メインスピーカー
パワーアンプ [ベスタクス PT-X1000A]
OUT PUT 接続機器
LINE3
SUB CH接続機器

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源アダプターがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っている。	正しく接続する。
	MASTER LEVEL ヴォリュームや、各音量ヴォリューム調整が MIN になっている。	各音量ヴォリュームを適正な位置に調整する。
音量が小さい。	レコードプレーヤーの出力ケーブルを PCV-175 本体の LINE INPUT に接続している。	PCV-175 本体の PHONO INPUT に接続し直す。
	レコードプレーヤーのカートリッジに、MC タイプを使用している。	カートリッジを MM タイプに交換する。
音がひずむ。	PCV-175 の出力を、プリメインアンプの PHONO 入力に接続している。	プリメインアンプの AUX 等の入力に接続し直す。
	出力レベルの高い CD、MD プレーヤー等を接続している。	PCV-175 のトリムヴォリュームを下げる。
左右の音が逆になる。	各機器の接続が左右逆になっている。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音 (ハム音またはバス音) がはいる。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがある。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離す。
	レコードプレーヤーのアース線がはずれている。	アース線を PCV-175 本体の GND ターミナルに接続する。
クロスフェーダーの動きが悪い。または、動かすとノイズが発生する。	クロスフェーダーが消耗している。	新品のクロスフェーダーに交換する。(別売の交換用クロスフェーダーユニット CF-PCV をご購入ください。)

保証、アフターサービスについて

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保 証 期 間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保 証 期 間 中 は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ (　　)　　－

主 な 仕 様

		定格入力レベル	最大入力レベル	インピーダンス
入力部	MIC（1/4 INCH PHONE JACK）	-50dBv	-20dBv	3.3kΩ
	PHONO　1～3L/R（RCA PIN JACK）	-42dBv	-22dB v	470kΩ
	LINE　1～5L/R（RCA PIN JACK）	-10dBv	+14dBv	47kΩ
イコライザー部	HI	10kHz　+6dB～-24dB		
	MID	1kHz　+6dB～-24dB		
	LOW	80Hz　+6dB～-24dB		
		定格出力	最大出力	インピーダンス
出力部	LINE OUT L/R（RCA PIN JACK UNBALANCE）	-4dBv	10dBv	10kΩ OVER
	REC OUT（RCA PIN JACK UNBALANCE）	-10dBv	+10dBv	10kΩ OVER
	EFFECT SEND（1/4 INCH PHONE OUT)	-10dBv	+14dBv	10kΩ OVER
	HEAD PHONE（1/4' PHONE JACK ）		130mW	8Ω OVER/47Ω
周波数特性	MIC　30Hz ～ 20kHz ±3dB	クロスフェーダー・クロストーク		＞100dB
	LINE　20Hz ～ 20kHz ±1dB	チャンネル・クロストーク		＞65dB
S/N比	MIC　>60dB	電源方式		DC15V ADAPTOR
	LINE　>75dB	サイズ（W×H×D）		270×89×353
		重量		4kg

Vestax Corporation

MAY.2001 PCV175 J2
P/N: 4301-4142-1